

平成27年7月29日
国土交通省
佐伯河川国道事務所

記者発表資料

水生生物で番匠川の水質を調べてみよう！！

(平成27年度 番匠川水系水生生物調査の実施について)

《水生生物で川的环境を調べる》

河川環境に対する意識の向上、水質保全や河川愛護の必要性を認識してもらうために、番匠川流域の小・中学校等の協力を得て、水生生物による水質調査を下記のとおり実施致します。

水生生物調査とは・・・河川にすんでいる生物の種類や数によって、河川の水質を調べる調査。
国土交通省と環境省では昭和59年度より小学生、中学生、高校生、一般の方の参加を得て調査を実施している。

記

学校名	実施予定日	参加予定人数	調査地点
佐伯市立本匠中学校	8月5日 13:30～	9名	森下橋(番匠川)
虹の丘児童館クラブ	8月19日 13:00～	15名	常磐堰(番匠川)

※なお、天候や河川状況により調査地点の変更や調査を中止する場合がありますので、取材等で現地に来られる場合は事前に下記の「問い合わせ先」までご確認して頂きますようお願いいたします。

問い合わせ先

国土交通省佐伯河川国道事務所 TEL 0972-22-1880

調査課 : 課長 樋口 俊二
係長 山代 高典

(参考)H26年度実施結果

「水生生物調査」地点別水質階級一覽



川の生きものを調べよう

水生生物による水質判定

I きれいな水

ナミウズムシ
石の表面にはりついていて、伸び縮みする
中・下流部には外来種がいることがある
×5
実物大
耳状のとがった突起
また、体に模様があるのも外来種
外来種
アメリカツノウズムシ

ヒラタカゲロウ類
流れの速い石の表面にはりついている
×2
実物大
平たい体
えら
尾は2本

カワゲラ類
体ががんじょうな感じがする
石の下やすき間にいる
×2
実物大
つめは2本 (カゲロウは1本)

サワガニ
体色は赤色、茶色、青白色のものがあるが、同じ種類である
×3
実物大
甲らに丸み
頭は赤～茶色 (クロスジヘビトンボは黒)

ヘビトンボ
流れの速い石の下にひそんでいて、えもをおそう
×3
実物大
強力な大あご
扇状のえら (クロスジヘビトンボはなし)
棒状の突起

ブコ類
急流の岩や石に吸盤ではりついている
集団をつくり、石が黒く見えることもある
×5
実物大
きゅうばん
吸盤

アミカ類
腹面に吸盤があり、急流の岩や石にはりついている
×2.5
実物大
らくめんきゅうばん

ナガレトビケラ類
流れの速いところにいる
×3
実物大

ヤマトビケラ類
流れの少しゆるやかなところの石面に多い
×3
実物大
小さな石粒の巣

ココエビ類
上流の石の下や水中にたまった落葉の間にいる
×2
実物大
しよっかく
第2触角が第1触角の1/2以上
しよっかく
第2触角が第1触角の1/2

タニガワカゲロウ類
体はヒラタカゲロウ類に似ている
流れの速いところにいる
×1.5
実物大
尾は3本
平たい体

I, II 両方でみられる水生生物 (指標種ではない)

II ややきれいな水

カワニナ類
流れの少しゆるやかなところにいる
外来種のコモチカワツボホは数mmと小型
×0.5
実物大
平たい触角
から一般の口が丸
外来種
コモチカワツボホ
から一般の口がひし形

コオニヤンマ
流れが少しゆるやかなところにいる
×2
実物大
平たい体

ヒラタドロムシ類
石の表面にはりついている
×2
実物大
平たい体

ヒゲナガカワトビケラ類
流れの速い石の間に網をはってえさを集める
体色は茶～黒色
×1.5
実物大
左右に大きめの石粒をつけた巣

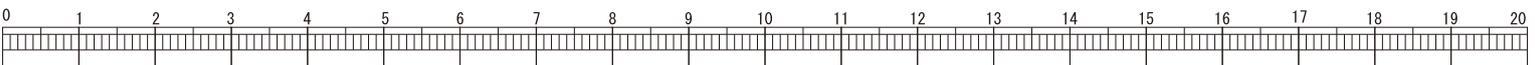
コガタシマトビケラ類
頭部の前縁に浅い凹みがある
×3
実物大
浅い凹み

ゲンジボタル
流れが少しゆるやかなところにいる
カワニナをえさとする
×2
実物大
ぜんきょう
前胸の模様が異なる
もよう
ヘイケボタル

ニンギョウトビケラ類
流れが少しゆるやかなところの石面にいる
×5
実物大
頭に広い平らな面がある

オオシマトビケラ
流れが少し速いところにいる
×2.5
実物大

*のついている生物はよく似ていますが指標種(水質判定に使う水生生物)ではありません。



Ⅲ きたない水



ミズムシ

落葉のあるところではきれいな水にもいる



実物大

シマイシビル

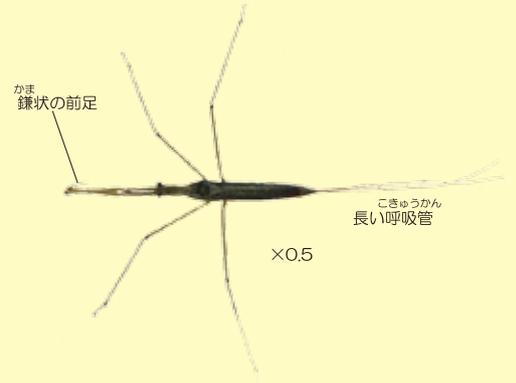
だてしまもよう
背中に縦縞模様がある
の伸びたり縮んだりする
尾の先に吸盤がある



実物大

タニシ類

流れのゆるやかなところにいる



ミズカマキリ

川では川岸の草の中などにいる

Ⅳ とてもきたない水



×2.5

エラミミズ

ひぶ
尾部にえらがある
流れのゆるやかなところにいる



実物大

左側→
×4

←右側
×4

サカマキガイ

まきがい
多くの巻貝と違い、左巻き
流れのゆるやかなところにいる



×0.5

アメリカザリガニ

北アメリカ
北アメリカ原産の外来種
流れのゆるやかなところにいる



×5

ユスリカ類

ふくふく
腹部に2対(4本)または1対(2本)のひも状のえらがある
は
瀬でみられる赤いユスリカはセスジユスリカやハイロユスリカが多い



×6

実物大

チョウバエ類

ひぶ
尾部、腹部背面にかたい部分(キチン板)がある

汽水域(海水が混じっているところ)

Ⅱ ややきれいな水



実物大

実物大

かくちょう
大型個体は殻頂
が欠ける

実物大

イシマキガイ

こがん
石や護岸にはりついている
淡水域にいることもある

ヤマトシジミ

砂や泥の中にある
淡水域にはマシジミ*や外来種の
タイワンシジミ*がいる

Ⅲ きたない水



×4

×4

実物大

×4

×4

実物大

イソコツプムシ類

石の下にいる
さわると丸くなる

ニホンドロソコエビ

泥の上や中にある
河川の上・中流部にも淡水性のヨコエビ類がいる

*のついている生物はよく似ていますが指標種(水質判定に使う水生生物)ではありません。

